

デジタルトランスフォーメーションの現状と問題点について

長野県長野工業高等学校 物質化学科

大澤光希 大日方佑也

1 テーマ設定の理由

- 働き方改革について知るために、デジタルトランスフォーメーション現状と問題点を調べました。

2 現状

- 2020年12月デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会の中間報告書DXレポート2によれば
日本国内の企業223社のうち9割以上で「未着手」か「一部のみの実施」にとどまる。

DXレポート

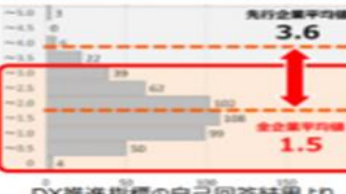
DXレポート2のサマリー (DX加速シナリオ)

①これまでのDX政策とその結果

DXレポート(2018)以降

①DX推進指標、デジタルガバナンスコード (DX認定、銘柄) に取り組み、企業のDXを推進
 ②一方、先般のDXレポートでは「DX=レガシーシステム刷新」など、本質ではない解釈を生んでしまい、また、「現時点で競争優位性が確保できていればこれ以上のDXは不要である」という受け止めも

企業のDX推進状況に大きな差



②コロナ禍で明らかになったDXの本質

コロナ禍で見られた事象

①事業環境の変化に迅速に適応できた企業と、そうでない企業の差が開いている
 ②押印、客先常駐、対面販売など、これまでは疑問を持たなかった企業文化 (業務・慣習) が変革の阻害要因に
 →先送りしてきた課題がコロナ禍により一気に表出

コロナ禍で明らかになったこと

「業早く」変革「し続ける」能力を身に付けること、その中ではITシステムのみならず企業文化(固定観念)を変革することの必要性が明らかに(DXの要)
 DXは、ITシステム更新の問題から企業文化刷新の問題へ

目指すデジタル社会の姿

- 社会課題の解決や新たな価値、体験の提供が迅速になされ、安心・安全な社会が実現
- デジタルを活用してグローバルで活躍する競争力の高い企業や、カーボンニュートラルをはじめとした世界の持続的発展に貢献する産業が生まれる



デジタル企業

デジタルガバナンス・コード/DX銘柄

企業内に事業変革の体制が整い、環境の変化に迅速に対応できる

レガシー企業文化からの脱却

デジタル企業への変革プロセス

③コロナ禍により高まるDXの緊急性

デジタルの浸透

①デジタルサービスが提案する新たな価値を享受することが当たり前になり
 ②コロナ禍を通じて人々の固定観念が変化。テレワークなどをはじめとしたデジタルによる社会活動の変化は元に戻らない
 →ビジネスにおける価値創出の中心がデジタルの領域に移行

DXの緊急性

顧客の変化に対応するにはデジタルは必須。ビジネスを今変化させなければ、デジタル競争の敗者となる。
 企業の変革を推進するパートナーとなるため、これまで企業のITシステム構築を担ってきたベンダー企業も変革が必要。

全体の9割以上

DX未着手企業

DXについて知らない

DX途上企業

DXを進めたいが、散発的な実施に留まっている

DXの認知・理解

- DX事例集の提供
- 知見を集める場の提供

直ちに(超短期)取り組むアクション

製品・サービス活用による事業継続・DXのファーストステップ

- ツール導入に対する支援

DX推進体制の整備

- 共通理解形成のためのポイント集の策定
- CIO/CDXOの役割再定義

DX戦略の策定

- DX成功パターン策定のデジタルガバナンス・コード業種別リファレンスケース
- デジタルガバナンス・コード/DX認定

DX推進状況の把握

- DX推進指標等
- レガシー刷新の推進

短期的対応

産業変革のさらなる加速

- ユーザー企業とベンダー企業の共創の推進
- 研究開発に対する支援
- デジタル技術を活用する変革の支援

デジタルプラットフォームの形成

- 共通プラットフォーム推進
- デジタルアーキテクチャ推進

DX人材の確保

- リスキル・流動化環境の整備

中長期的対応

- 事業変革の環境整備
- デジタル社会基盤の形成
- 人材変革
- 産業変革の創発的支援

3 問題点

- 1、IT投資が十分行われていない。
- 2、経営層のビジョンが不十分
- 3、IT人材の不足
- 4、ベンダー企業に依存している。
- 5、会社全体での導入が難しい。

4 今後の課題

- 経営陣のトップ自らが自社の抱える課題を正確に認識して、DXビジョンを掲げるようにする。そのビジョン達成の道筋を作るためにもガイドラインを作成することが必要。

SDGs 実現のために 10代からの提言

- データ活用とAI活用部門の連携、業務プロセスの効率化をしてほしい。
- IT人材が不足している。データをビジネスに活かす知識を持っている人材を多く採用してほしい。

考察・感想

- デジタルトランスフォーメーションは、様々な情報技術を社会に多く使われていました。現状、問題点、課題について分かりました。
- 今後の働き方がどのように変わっていくのか詳しく調べていきたいです。